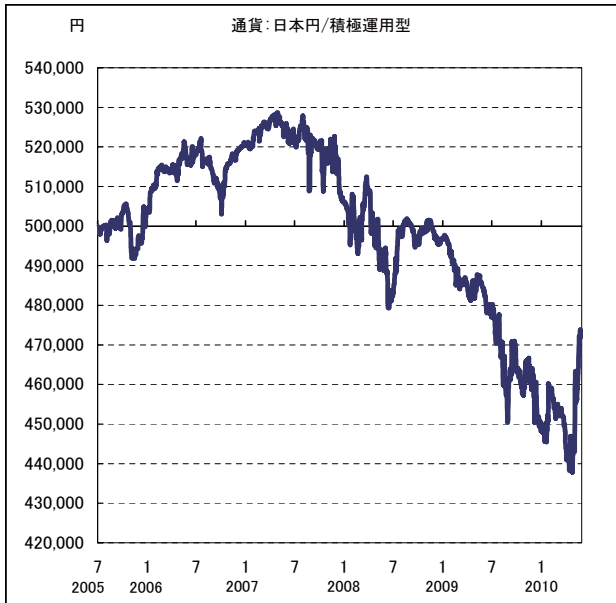


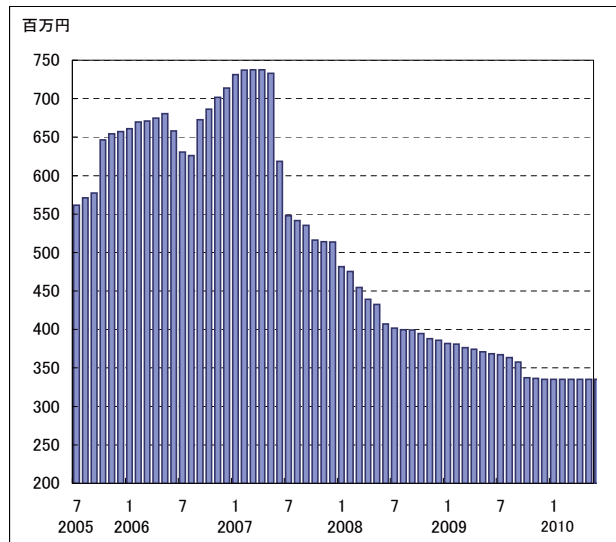
スカイスクレイパー マンスリーレポート～2010年5月

★基準価格の推移



※2006年6月30日(¥18,020/口)の分配金額を含んでおります。

★設定元本総額の推移



★主な組み入れ銘柄

商品先物取引	白金	銀	金
金属			
農産物	大豆		
エネルギー	ガソリン	灯油	原油
指数	東工商品指数		
その他	ゴム		

★スカイスクレイパーの概要

○設定形態	匿名組合型	○期中分配	: 有り (決算日及び毎月末日)
○運用方針	積極運用・追加型	○解約	: 2009年12月までの毎月末日において可能
○運用開始	: 2005年7月1日	○解約単位	: 1口単位
○運用終了	: 2010年6月30日	○参加手数料	: 無し
○販売単位	: 1口単位 (基準日における基準価格)	○解約手数料	: 購入後6ヶ月未満…解約基準価格の2.0% 購入後1年未満 …解約基準価格の1.0% 購入後1年以上 …無料
○申込締切	: 個人…2009年6月までの毎月20日 法人…2009年6月までの毎月購入基準日		
○払込期限	: 購入基準日の4営業日後		

- 実績は過去のものであり将来の成績を表すものではありません。
- 純資産額は、解約価額とは異なります。
- 他の投資家への直接譲渡は原則としてできません。
- 本ファンドは先物取引を中心として資金を運用します。分散投資等によりリスクを管理していますが、その収益は日々大きく変動することがあり、また元本や収益が保証されているものではありません。先物取引の運用次第では投資元本が全く償還されないおそれもあります。

★運用実績の月間推移

	期間騰落率	設定来騰落率	基準価格	
第1年度 2005年 7月 ～ 2006年 6月	3.60%	3.60%	500,000	
第2年度 2006年 7月 ～ 2007年 6月	0.98%	4.59%	504,914	
第3年度 2007年 7月 ～ 2008年 6月	-7.75%	-3.23%	465,808	
第4年度 2008年 7月 ～ 2009年 6月	-1.46%	-4.59%	459,007	
第5年度	2009年 7月	-1.45%	-5.92%	452,371
	2009年 8月	-4.21%	-9.73%	433,340
	2009年 9月	3.44%	-6.75%	448,246
	2009年10月	-1.62%	-8.20%	441,003
	2009年11月	0.48%	-7.77%	443,134
	2009年12月	-2.91%	-10.35%	430,219
	2010年 1月	2.58%	-8.13%	441,307
	2010年 2月	-1.46%	-9.43%	434,852
	2010年 3月	-1.13%	-10.41%	429,940
	2010年 4月	-1.16%	-11.40%	424,970
2010年 5月	6.85%	-5.58%	454,090	

★分配実績 (税引き前)

	決算日	分配金	設定来累計
第1年度	2006年6月30日	18,020	18,020
第2年度	2007年6月30日	0	18,020
第3年度	2008年6月30日	0	18,020
第4年度	2009年6月30日	0	18,020

★運用状況報告

原油相場は、当初の高値の87.15ドルから、一時昨年8月以来の64ドル台へ急落しました。米国の経済回復期待による上昇から一転、ギリシャ情勢の悪化で欧州を中心に金融不安が高まり主要国の株式市場が急落すると、原油市場も需要の伸び悩みが懸念され大幅安となりました。しかし、月末にかけてはガソリンの需要期に入ることもあって反発、75ドルを回復しました。

金相場は、当初の1,180ドル水準から下値を切り上げ、中旬には1,246ドル超えの高値をつけました。ギリシャ等南欧での財政赤字拡大問題はユーロ不信を強め欧州通貨が対ドルで下落、一時は大幅な株価下落からポジション調整が先行し、一時1,180ドルを割り込みましたが、欧州やアジアの実需買いもあり下値が支えられ、買への逃避的な投資行動の活発化で反発しました。

白金相場は、当初の1,750ドル水準から軟調傾向となりました。自動車販売の回復傾向等先行きの景気回復見通しはありましたが、欧州財政不安を背景に、世界的に株式市場が調整色を強めたこともあり、次第に現物需要が後退。1,600ドルを割り込み、一時は1,450ドルまで下落しました。ただ、1,500ドル割れではアジアからの実需買いが活発化、次第に反発に転じました。

ゴム相場は当初の295円水準から下落傾向となりました。中旬には260円割れの場面もありましたが、4月の330円からの下落傾向とあって、次第に自律反発の動きが見られ、下旬には290円に接近する反発場面となりました。一時、大幅に下落していた株価が反発したことも、ゴム相場回復の背景となりましたが、次第に上値にも抵抗感が見られるなど短期的な反発にとどまりました。

取扱営業所名

愛媛証券株式会社

「スカイスクレイパー」に係る手数料等について

解約手数料： 購入後6ヶ月未満 解約金額の2.0%
購入後1年未満 解約金額の1.0%

管理報酬： 運用委託額の年率2.00%

投資顧問報酬： 運用委託額の通常年率2.0%及び運用収益の20%

取次手数料： (国内先物取引) 原則として1枚(往復)当たり上限2,000円

その他費用(実費)： ①当ファンドの組成、維持及び清算に要する弁護士、公認会計士及び税理士費用並びに各種送金手数料、②監査に必要な公認会計士費用及び銀行残高報告書発行手数料、③契約締結前交付書面、契約締結時交付書面、購入申込書兼匿名組合契約書兼印鑑届及び運用報告書等必要書類の作成費用及び発送費用④社債投資等に係る費用

管理報酬、投資顧問報酬、取次手数料及びその他の費用については、事前に計算できないため、当ファンドに係る手数料等の総額または上限額を表示することはできません。

「スカイスクレイパー」に係るリスクと留意点

当ファンドは、先物市場等の値動きにより、大きな収益を得る可能性がある反面、投資元本を割り込む損害を受ける可能性もあるハイリスク・ハイリターンの商品です。投資する商品は多岐にわたり、各々の商品に対して買いのポジションも売りのポジションも持つため、先物市場等の特定の指標の値動きが当ファンドの収益又は損失発生の原因になるとは限りません。当ファンドは元本や収益が保証されているものではありません。また、預金保険の適用はありません。当ファンドでは、1口当たりの純資産価額が当初1口当たり純資産価額の80%を割り込んだ場合には繰上げ償還します。クーリング・オフの適用はありません。当ファンドは、2010年6月30日に運用を終了いたします。また、追加募集は2009年6月で終了いたします。投資家が取得する商品ファンド関連受益権は、相続、遺贈、破産手続開始の決定その他これらに準ずる場合を除き、直接他の投資家に転売、譲渡できません。契約締結前交付書面及び契約締結時交付書面を十分にお読みいただき、当ファンドの特徴とリスクの内容をご理解下さい。

金融商品取引業者の概要

商号：愛媛証券株式会社

本店所在地：愛媛県松山市一番町4-1-11

登録番号：四国財務局長(金商)第2号

加入している金融商品取引業協会：日本証券業協会、社団法人日本商品投資販売業協会

取扱営業所

愛媛証券株式会社

<http://www.ehime-sc.co.jp>

本店 TEL. 089-933-2333 大洲店 TEL. 0893-24-5151 八幡浜本社 TEL. 0894-22-2211